

身のまわりの製品を 安全に使おう

保護者の皆様へ

私たちの生活を豊かに、便利にしているさまざまな製品。しかし、そうした身近な製品の中には、「製品事故」という危険が潜んでいる場合があります。製品事故は、製品の設計ミスや製造不良など製品そのものが原因で発生するものだけではありません。実は、使用者の誤った使い方や不注意などによっても多くの事故が発生しています。身近な製品に潜む危険を知り、安全に正しく製品を使いましょう。

今日をきっかけに、お子さんと一緒に、御家庭の中の電気製品の使い方、保管方法について、取扱説明書や注意表示・警告表示を見直してみてもいいでしょうか。

ドライヤーなど電気製品のコードに注意しよう

ヘアドライヤーを使っていたら、
火花が散って、手のひらをやけどした！



どうして事故がおこったの!?

■ヘアドライヤーを使っているときやしまうときに、コードの根元をなんども曲げたり引っぱったりしたから、コードの中の線が切れて火花が出たんだって。

■電源コードは2本の電線でできている。この2本の電線の銅線同士が直接ふれてしまうと瞬間的に大きな電流が流れて火花がでるんだよ（これをショートという）。

■コードは巻きつけずにしまおう。使うときもコードをかならず伸ばして使おう。



■ほかの電気製品でも事故はおきているよ。同じように気をつけてね。

こんな使い方にも注意！

①プラグをコンセントから抜くときは、コードをむりに引っぱらない。プラグ部分を持って抜こう。

②コードの上にものをのせない。引っぱったり、ものをのせたりすると、コードの中の線が切れたりしやすくなるよ。

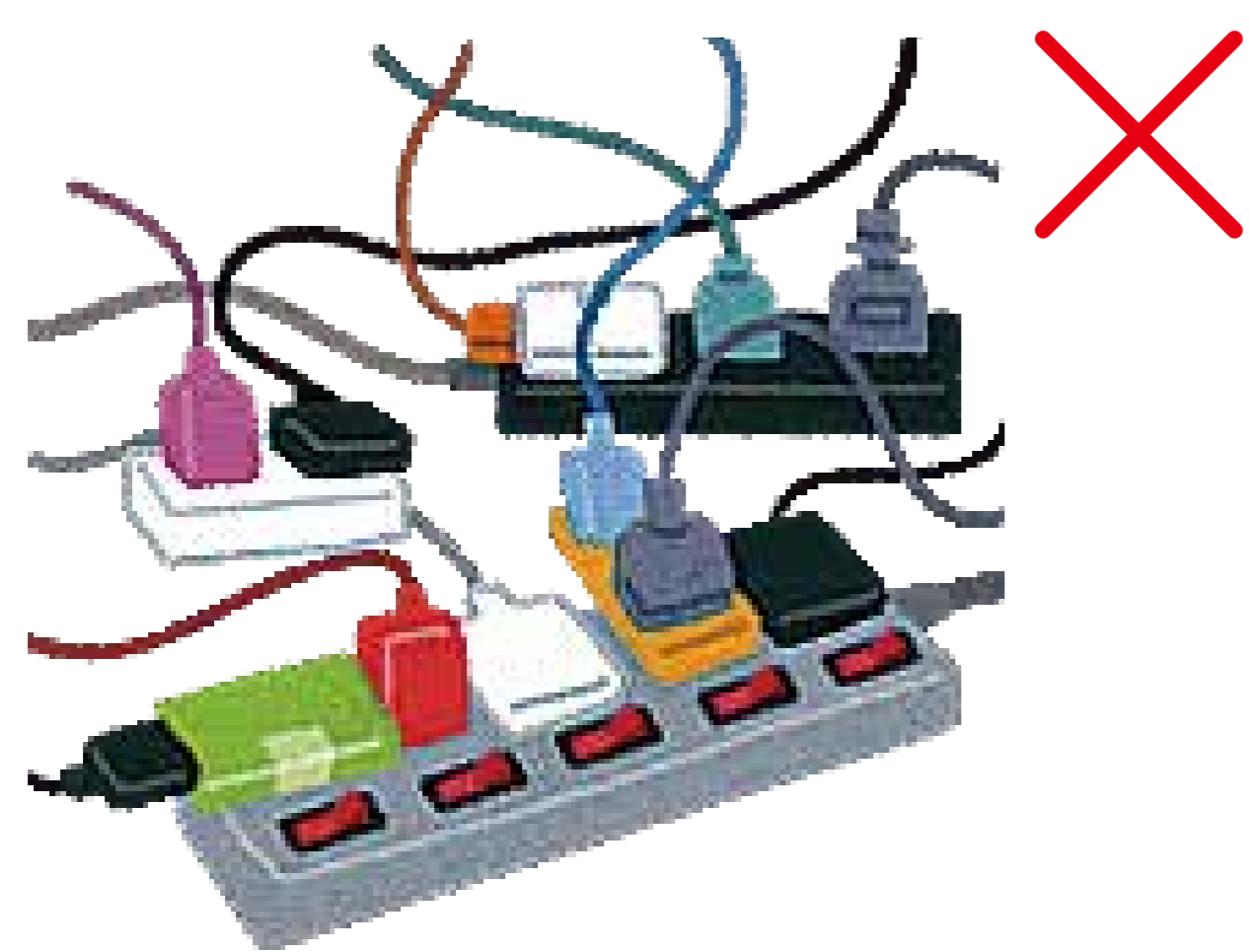
③コードを束ねたまま使わない。コードを束ねたまま使うと、コード同士がくっついている部分に熱がたまって、コードのビニール等がとけて、中の電線の銅線同士がくっついて火花が出ることがあるよ。



出典：製品評価技術基盤機構

たこ足配線に気をつけて！

たこ足配線をしていたら、テーブルタップが熱くなって、煙が出てきた！



「テーブルタップ」にたくさん電源コードを差しこみ、コードがたこの足のようになってることを「たこ足配線」といいます。

どうして事故がおこったの!?

■テーブルタップに流せる電気の量は決まっている。いくつもの電気製品をつなげるとオーバーしてしまうことがあるよ。オーバーすると、コードやテーブルタップが熱くなり、火が出ることもあるんだ。

■テーブルタップや延長コードを使うときは、表示されている電気の量を守ろう！



出典：製品評価技術基盤機構

